

令和4年
伊豆市議会3月定例会

一般質問

令和4年3月

令和4年伊豆市議会3月定例会一般質問者と質問事項

3月14日（月）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
1	7. 杉山 武司	1. コロナ禍における行政経営について	市長	1
		2. GIGAスクール構想事業について	教育長	3
2	5. 黒須 淳美	1. 新ゴミ処理施設稼働と4月施行予定の「プラスチック資源循環促進法」について	市長	4
		2. 「心のバリアフリー」を目指して伊豆市に「やさしい日本語」を広めませんか	市長	5
		3. 伊東修善寺線道路拡幅工事について	市長	6
3	2. 浅田 藤二	1. 荒廃農地対策について	市長 教育長	8
		2. 食育について	市長 教育長	10
		3. 部活動について	教育長	12
4	9. 鈴木 正人	市政運営における「生産性革命」とは	市長 教育長	13
5	3. 鈴木 優治	伊豆市公共施設再配置計画について	市長	15

3月15日（火）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
6	14. 三田 忠男	1. 仮称)伊豆市スカイラインC.C.太陽光発電所建設事業の進捗状況と伊豆市の取り組みについて	市長	17
		2. 伊豆市の新型コロナウイルス感染状況とその結果の影響について、対策の現状と課題	市長	18
7	11. 波多野 靖明	1. 消防団の施設環境と優遇措置について	市長	19
		2. コロナ禍における市内小中学校の行事・授業について	教育長	20
		3. 伊豆市の玄関口、修善寺駅と周辺の活性化について	市長	21
8	8. 星谷 和馬	1. 奨学金制度について	市長	22
		2. 美術館建設について	市長 教育長	
9	1. 小川 多美子	耕作放棄地の解消について	市長 教育長	23
10	16. 杉山 誠	1. 脱炭素（カーボンニュートラル）への取り組み	市長 教育長	25
		2. コロナ禍で打撃を受けた観光業の再生に向けた取り組み	市長	26



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4年 2月 25日

伊豆市議会議長 様

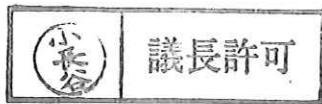
議席番号 7 議員名 杉 山 武 司

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・ 質疑・ 反対討論・ 賛成討論・ その他 ()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1 コロナ禍における行政経営について	<p>2022年は新型コロナウイルスが国内で感染確認されてから3年目となります。この間、地方自治体では感染防止対策やワクチン接種などの対応に追われてきました。</p> <p>全国でオミクロン株による感染が拡がり、今や第6波の渦中にあります。「まん延防止等重点措置」の長期化が危惧され、飲食業、観光業のダメージは深刻で、食材を供給する生産者も連鎖的な売り上げの低迷に苦しんでいて、庶民の暮らしの影響は出口の見えない状態となっています。</p> <p>そのような状況下、行政においては感染症対応や地球温暖化対策、更にはデジタルトランスフォーメーションへの取組みなど複合的な課題が山積し、現在日本が抱える少子高齢化のリスクと相まって、各種専門職の不足などを始めとして、深刻な人材不足が明らかになり、加えて多様性のある地域社会の構築も求められ、かつて過去に経験したことの無い様々な課題に直面しています。この多くの課題に首長として行政のかじ取りをどのような考えで取り組んでいくのか、日経リサーチが、昨年インターネット上の電子調査票で47都道府県と815市区の首長を対象にコロナ禍における行政経営について調査した資料を参考にしますことを申し添え、この調査で市長が回答した内容について確認の意味を含めてお尋ねいたします。調査項目が多岐にわたりますので抜粋して質問を致します。</p>	市 長

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>① 「コロナ禍を経て、民間を含む病院の再編統合・適正病床数の考え」の設問の回答では、「病床数を維持しながらも、再編・統合を進める」と回答されています。その再編・統合を進めるとの意図とするところをお尋ねします。</p> <p>② 「コロナ対応をきっかけに明るみになった課題」の設問では、「IT化の遅れがある」と回答しています。全体でもこの回答が最多で59%、今後伊豆市でIT化を推進するにあたり、この課題を乗り越えるためには何が必要なのかを伺います。</p> <p>③ 新型コロナウイルスへの対応をきっかけに自治体が組織として力をつけたことはありましたか。</p> <p>④ 「在宅勤務・テレワークについて」の設問では、「自治体職員には難しい」と回答されていますがその理由をお尋ね致します。</p> <p>⑤ 「政府が自治体の基幹業務システムを統一・標準化する方針」について、最も近い考えの設問では、「全面的に賛成」との意思を表明しています。 その判断に至った理由を説明願います。</p> <p>⑥ 「2050年のカーボンゼロを目指すにあたっての施策」の設問では、今後導入予定や意向のある施策として、「屋根置きなど自家消費型の太陽光発電設置への助成」と「太陽光等自然エネルギーの立地規制の導入」を挙げていますが、具体的な施策をお尋ねいたします。</p> <p>⑦ 「国が目標にする2030年までの女性管理職比率30%」の設問ですが、回答として、「2030年までに高めたい」との判断を示しています、目標とする比率水準と、達成するための人事施策を伺います。</p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2 G I G A スク ール構想事業に ついて	<p>先般、裾野市で行われました静岡県東部市議会議長会において、東海市長会提出議案として「G I G A スクール構想事業の補助制度の拡充について」の議案を伊豆市として提出をいたしました。</p> <p>令和2年度に各学校で一人一台の端末やネットワーク環境の整備を進め、伊豆市では令和3年度から運用を始めました。しかし今後の維持管理や機器の更新等で、将来負担についての補助制度がないことが地方自治体の財政上の課題となっています。</p> <p>今後の学校における ICT 機器の安定的な運用が継続して行えるよう、国に対し補助制度の創設を要望するものであります。</p> <p>伊豆市でG I G A スクールが始まって1年、多くの課題や問題点が顕在化したと思います。</p> <p>以下お尋ねいたします。</p> <p>① 令和4年度の文部科学省の予算案では補助制度はどのようなものが予定されていますか。</p> <p>② 顕在化した課題等で特筆すべきことはどのようなことがありますか。</p> <p>③ 学校の ICT 化を支える上で、GIGA スクール運営支援センターの機能をはじめ、運用面で必要な支援はどのような内容か伺います。</p> <p>④ 一人1台端末の年度更新の考えを伺います。</p>	教育長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4年 2月 25日

伊豆市議会議長 様

議席番号 5 議員名 黒須 淳美

No. 1

発言の種別 (○で囲む) (一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他())		
発言の要旨		答弁を 求める者
件名	内容	
1. 新ゴミ処理施設稼働と4月施行予定の「プラスチック資源循環促進法」について	<p>今現在、伊豆市で進んでいる大型事業の一つである新ゴミ処理施設は来年1月稼働開始予定で、今年8月にはいよいよ試運転が始まります。この施設の稼働年数は30年を予定しており今まさに真新しい施設を使うことになる私たちはその維持・管理についても責任を持って取り組んでいくことが大事だと考えられます。</p> <p>50年前、生ごみはそのまま埋め立てられ「ごみ戦争」という言葉までありましたが、今では燃えるゴミは日本においては全量焼却が主流となりました。またゴミを資源と考え再利用することで絶対量も減少傾向にあるそうです。</p> <p>主な資源ごみであるプラスチックごみについて政府はこの4月から「プラスチック資源循環促進法」を施行し市区町村に対しては一括回収を努力義務とするなどの内容となっているようです。そこで、これを受けて新しい施設運用にあたり伊豆市ではどのように取り組む計画か次の点について質問します。</p> <p>① <u>具体的にどのような法律と受け止めていますか</u></p> <p>② <u>取り組みにあたり負担増など課題となることは何ですか</u></p> <p>③ <u>伊豆の国市との共用になりますが資源ごみの扱いについてはどのようになりますか</u></p> <p>④ <u>新ゴミ処理施設から排出される焼却灰も埋め立てだけでなくセメントやスラグなどの材料に再利用する計画はありますか</u></p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>2. 「心のバリアフリー」を目指して伊豆市に「やさしい日本語」を広めませんか</p>	<p>静岡県も普及に努めている「やさしい日本語」という取り組みがあります。これは外国人にも理解しやすいよう簡単にした日本語のことで、1995年の阪神・淡路大震災では、多くの外国人も被災し、その中には日本語も英語も十分に理解できず、必要な情報を得られない人達もいました。そうした人たちが災害発生時に適切な行動をとれるようにと考え出されたのが「やさしい日本語」の始まりと聞いています。</p> <p>東京都では東京2020大会のレガシーとして「多文化共生社会の実現」を取り上げ「やさしい日本語」を観光や情報発信のツールとして紹介しています。</p> <p>伊豆市においてはコロナ禍前には国内のみならず海外からも多くの方が訪れていました。基盤産業である観光やスポーツ、レジャー、ワーケーションを含めこれから伊豆市を訪れる人たちにとって、伊豆の美しい自然や観光施設も勿論ですが、それ以上に地元住民との交流が心を動かされる体験になるのではないのでしょうか。</p> <p>私は昨年のオリンピック、パラリンピックで修善寺駅でボランティアを経験しました。その際のボランティア仲間での合言葉が「目で笑顔を伝えよう」でした。またこのボランティアに参加するにあたり受講した研修会では、来訪者への情報提供は短く分かりやすい言葉で、とのアドバイスがありとても役に立ったことを覚えています。相手に配慮したやさしい言葉かけの大切さ、これが「やさしい日本語」の活用を考えるきっかけとなりました。</p> <p>「やさしい日本語」は外国人だけでなく私たちが日常生活を送る上で、例えば教育現場や高齢の方、障害のある方ともお互いを認めあい対等な関係を築きながら共に生活していく上でのツールとして活用すべきではないかと思います。</p> <p>伊豆市は昨年7月オリンピック、パラリンピック開催を前に市職員を対象に「やさしい日本語」研修を行ったと聞いています。</p>	<p>市長</p>

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>3. 伊東修善寺線道路拡幅工事について</p>	<p>この「やさしい日本語」が、今後どのように市民サービスに活かされていくか、例えば窓口業務での対応や行政文書、あるいは情報メールを分かりやすく簡潔にするなど、現況を含め次のことについて質問します。</p> <p>① <u>昨年の職員研修実施の経緯、意図、内容について</u></p> <p>② <u>「やさしい日本語」は現状どのように活用されていますか</u></p> <p>③ <u>問題点、課題などがありますか</u></p> <p>④ <u>「やさしい日本語」の今後の活用について運用計画はありますか</u></p> <p>⑤ <u>市民向けの「やさしい日本語」講座開催などの検討はありますか</u></p> <p>去る1月22日に修善寺中学校体育館で予定されていたタウンミーティングがコロナ禍の影響で延期となりました。</p> <p>このタウンミーティングでは、是非とも伊東修善寺線拡幅工事の件について質問したかった、という近隣住民の声を聞いております。</p> <p>伊東修善寺線は伊豆市民の主幹道路の一つでもあり、県内外からの車も多く、修善寺駅に入る右折車線や修善寺橋にかけて慢性的な渋滞を起こしています。また修善寺駅に入るための二つの交差点では、信号機の間隔が短いなどで、事故が起きやすい箇所とも聞いています。</p> <p>元々修善寺駅周辺は古くからの商店街であり、店舗兼住宅が多く、拡幅による土地の提供、そのための代替え地への移転など、関連する住民の生活に直接大きな影響が出るものもあり、この事業では行政と住民との意思疎通が円滑に行われることがとても重要であると考えます。</p>	<p>市長</p>

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>昨年10月に策定された「第2次伊豆市総合計画」を見ますと修善寺駅周辺の「将来市民と共有したいありたい姿」という項目で、「伊豆市の玄関口として良いイメージを持たれ、市民と観光客が交流し、にぎわいにあふれる場」「交差点改良などにより、駅周辺の交通渋滞が緩和している」などが挙げられています。</p> <p><u>この総合計画と重ね見た時、伊東修善寺線拡幅工事は駅前住民のみならず、伊豆市全体の発展につながる重要な事業であると捉えることができると思います。つきましては今後の展開、目標、そのための計画など市長の考えをお聞かせください。</u></p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4年 2月15日

伊豆市議会議長 様

議席番号 2 議員名 浅田 藤 二

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		答 弁 を 求 め る 者
発 言 の 要 旨		
件 名	内 容	
荒廃農地対策について	<p>今年の米の買取り価格は、大きく下落し1俵あたりコシヒカリ1等米 11,520 円、2等米が 10,920 円、3等米が 9,900 円でした。昨年と比較すると 2,000 円近く下落しています。ますます生産者は耕作意欲をなくし、荒廃農地化が加速すると予想されます。</p> <p>1俵 18,000 円～20,000 円の買取り価格がなければ肥料代や糶摺り代、燃料代は払えません。機械の償却や人件費を考えずに先祖や親が託してくれた農地をなんとか次世代につなごうと頑張っている農家のみなさんに政策で応えていかなければならないと考えています。</p> <p>古来日本は、五穀豊穰を願い、米の収穫量の多さやたくさん米を持つことを豊かさの指標としてきました。</p> <p>今では、余剰米が溢れ、備蓄米や餌米に力を入れる国の政策が進んでいます。これは、農産物の貿易の自由化と農業保護の削減を進め、農家の米・麦・トウモロコシなどの基礎食料をつくる生産能力を減らし、アメリカ・カナダ・オーストラリアなどの少数の農業大国に依存する市場構造をつくってしまった結果です。</p> <p>日本の食料自給率は、カロリーベースで4割を切ってしまいました。コロナ禍の今、ひとたび食料危機が起こり、農業大国が輸出を止めてしまえば日本はひとたまりもありません。</p>	市長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>お金があっても食料が買えない時代がもうそこまで来ています。貿易自由化に歯止めをかけ、食料自給率を上げていく政策への転換が必要ですが、国レベルの話なのでもどかしさを強く感じています。</p> <p>自動車などの輸出促進の譲歩の条件に日本の農業が犠牲になっていく現状を消費者のみなさんのお力をおかりして変えていきたいのです。</p> <p>人・環境・生き物にやさしい経営を心がければ、消費者が共感し、そこから生み出される農作物に高い金額を払っても納得し、消費者との強い絆がつくれ、中山間地域の小さな農業でも高収益を実現できるのです。</p> <p>質問します。</p> <p>1. <u>お米が納得の値段で売れて、消費者に喜んでもらえれば生産者の耕作意欲もわき、荒廃農地解消につながります。それには、米のブランド化を進める必要があります。伊豆市は寒暖差が大きく天城山からのミネラルあふれる清流を使用した美味しいお米がとれます。ブランド米の最適地です。ブランド化をすすめるため DMO が営業販売を進めると同時に、低農薬、無農薬などの一定条件を設け、それをクリアしたお米について買い取りを行い伊豆市独自のブランド米をつくるお考えはありますか。</u></p> <p>2. <u>伊豆市または DMO が一定の価格でお米を買い取り学校給食に伊豆市産のお米を使ったメニューを取り入れるお考えはありますか。三島市では、完全米飯給食化を実現しました。子どもたちからは、美味しいと評判がよく残食率が大きく減少したそうです。保護者からは、オヤツの量が減り、スタミナがついたという感想が多く寄せられているそうです。</u></p>	

件名	内容	答弁を 求める者
食育について	<p>3. <u>修善寺温泉の旅館では、地元の安心・安全な食材確保のため地元農家の皆さまのたいへんな努力でつくられたブランド米「桂流こしひかり」を一定の金額(1俵2万円以上)で買い取り宿泊客に地元の食材として紹介し提供しています。安心・安全な農作物を生産してくれる農家をみんなで支えることが、人の健康や観光地のブランド化の観点から長期に考えればもっとも効率的ではないでしょうか。こういった民間の活動を後押しし伊豆市の農産物や生産物が市内で消費される市内地域経済循環システム構築のお考えはありますか。</u></p> <p>「奇跡の食育」で知られる「大塚 貢」元校長は、荒れに荒れていた学校に赴任し、生徒たちの食生活にその原因があると考えました。学校給食のメニューをパンからお米に変更し魚や野菜についても安心・安全な地元食材を使うことにしました。様々な障害を乗り越え、奇跡の給食を実現し荒れていた学校も暴力・イジメ・非行がなくなり、おちつきを取り戻したことが話題となり全国で講演活動を行い食育の大切さを訴えています。</p> <p>食は命を守る要です。</p> <p>農作物を生産し流通販売に携わって強く感じることですが安さには、必ず訳があるということです。</p> <p>全てではありませんが、農作物は生産場所からの距離かける消毒量と考えられます。日本では、収穫後の農作物の消毒は、禁じられています。いつのまにか船の上や港での消毒を添加物として処理する解釈になってしまいました。</p> <p>今から5年前に、輸入小麦の農薬含有量は以前の6倍の量5PPMから30PPMに緩和されてしまいました。</p>	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>輸入牛肉には、牛を早く大きくするためにエストロゲンなどの成長ホルモンが打たれています。</p> <p>ヨーロッパEUでは、国民を守るために成長ホルモンを投与された輸入牛肉の禁輸を決め現在にいたっています。禁輸から 17 年後に統計をとると、因果関係は特定できませんが乳癌での死亡率が 45%減少する結果がでました。カナダでは、国内産の牛乳 1 リットルが 300 円前後で売られています。スイスの国内生産の卵は、1 個 80 円ほどしますが、消費者からは『この卵を買うことで、生産者のみなさんの生活が支えられ、安心して私たちは安全な食べ物を口にすることができるのだから高くてもあたりまえでしょう』という答えがかえってきます。この言葉は、食材に関心が高く学校はもちろん地域や家庭での食育に培われたものだと考えます。</p> <p>食の安心・安全を理解する食育について小中学生はもちろん、消費者のみなさまにも積極的に関わっていただきたいと切にお願いしたいです。</p> <p>ヨーロッパでの輸入牛肉の規制は、消費者の安心安全食材への熱い思いが自治体や国を動かし実現したものです。質問します。</p> <p>1. <u>学校や消費者への食育は、どのような方法でどれくらいの頻度で行われていますか。</u></p> <p>2. <u>食育の観点から食材モデル校やモデル園を指定し安心安全な地元食材をとり入れたメニューで給食の提供はできないでしょうか。</u></p> <p>3. <u>現在の給食で提供されるパンの原料は日本で生産され加工された小麦でしょうか。</u></p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
部活動について	<p>1. <u>現在、中学校で外部コーチをお願いしている部活動数を教えてください。</u></p> <p>2. <u>中学校の部活動は教員の多忙な業務、地域の指導者の指導力向上が顕著であることなどを考慮にいて将来どうあるべきだとお考えですか。</u></p> <p>3. <u>競技団体によっては、資格を持った指導者が部活動をつうじた生徒の人格形成や豊かな人生を感じてもらえる指導を心がけ、しっかりとした教育的配慮ができる高レベルな指導者が在籍しています。</u></p> <p><u>勝ち負けだけにこだわり自分のエゴで子どもたちの指導をする指導者は、もういませんし、いることができない環境になっています。</u></p> <p><u>個人ではなく、そういった競技団体に部活動の全てを委託するお考えはありませんか。</u></p>	教育長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4 年 2 月 25 日

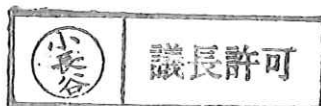
伊豆市議会議長 様

議席番号 9 議員名 鈴木 正人

No. 1

発言の種別 (○で囲む) (一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他())		答 弁 を 求 め る 者
件 名	発 言 の 要 旨	内 容
市政運営における「生産性革命」とは	<p>1月4日の「仕事始め式」において市長は、課長以上の約35人の幹部職員を前に、「就任以来ずっと、人口減少対策をメインに取り組んできたが、今年から『生産性向上一本』に絞って進めていきたい。」と決意を述べ、さらに今定例会初日の「施政方針演説」においても、「私の施政は・・・」で始まり、「伊豆市の『生産性革命』に着手することが令和4年度に私が目指す施政の方針です。」と結んで所信表明の如く力強く述べられました。</p> <p>そこで以下伺います。</p> <p>① 平成21年6月定例会の行政報告にて「人口減少危機宣言」を発して以来、これまで市長は、人口減少対策を1丁目1番地として、市政に取り組んでこられました。今回の決意は、ある意味、こうした方針の転換にも見えますが、<u>その真意を市長に伺います。</u></p> <p>② さらに、今定例会の初日に、再任された<u>教育長は、この度の市長の年頭の訓示、並びに施政方針演説をどのように受け止め、今後の任期の教育行政に取り組んでいかれるのか伺います。</u></p>	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>「生産性」とは、一般的に経済学で生産活動において労働力や資本、資源から付加価値をいかに産み出すかの効率の程度のことを指しますが、さらに言えば、より少ない「インプット（投資）」からより多い「アウトプット（成果）」が得られれば「より生産性が高い」ということもできます。</p> <p>そこで市長に伺います。</p> <p>③ <u>市政運営に関して、「生産性」とは何とらえていますか。また、施政方針において、「市内のあらゆる活動の生産性を高め、その結果として人口減少対策になると確信します。」と述べられましたが、「生産性革命」の観点から再度説明願います。</u></p> <p>④ 行財政改革について、英国の元首相チャーチルの言葉を引用し、公務員（市職員）は遣り甲斐のある仕事であると述べられました。また、DX の推進や包括的アウトソーシングの導入により、行政事務をより効果的効率的なものとすることによって、職員が、企画した事業の成果を実感できれば、職員の士気を高めることに繋がると述べられましたが、<u>それと同時に職員を正當に評価し、育成をすることも必須であると考えますが、いかがですか。</u></p> <p>⑤ 市長は、1年前の施政方針で「令和6年度末には合併特例債の借入れ期限を迎え、本市の財政規模は、令和7年度以降は一転して急激かつ大幅に縮小することが予測されます。」と述べられました。持続可能な市政運営を進めていくためには、この「生産性革命」を市民の理解を得ながら推進していかなければならないと考えますが、<u>3年後の伊豆市の姿をどのように思い描いているのか伺います。</u></p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4年 2月 25日

伊豆市議会議長 様

議席番号 3 議員名 鈴木優治

No. 1

発言の種別 (○で囲む) (一般質問) 質疑・反対討論・賛成討論・その他 ()		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
伊豆市公共施設再配置計画について	<p>今般全員協議会で伊豆市公共施設再配置計画(素案)が示されました。時代の変遷を経て、市町村合併、施設の老朽化、建築基準法(耐震基準)の変更、ニーズの変化、人口減少、等々時代の変化は目まぐるしく激動の時代を想像出来ずにおります。全国の自治体の抱える問題点の代表的なものが公共施設の見直しと再編であると承知致しております。</p> <p>当市に於いてもご多分に漏れずの状況にあり、厳しい財政状況下ますます財政圧迫の要因となるのではと危惧するところです。</p> <p>行政は重要課題として一刻も早くこの問題に取り組んで頂きたいと思っております。</p> <p>伊豆市公共施設再配置計画(素案)の作成にあたり行政のご尽力に敬意を表します。今日現在に至るまでの総括、反省、評価はなされたのでしょうか?負の遺産を継承したとの思いの感を持つのは私だけでしょうか。</p> <p>市長施政方針〔7行政と議会の相互作用〕の中で「市民の方々が議会に関心を持ち、市の課題を理解し、市の施策を自分ごととして考えるような場にしていきたい。—中抜き— 市が進むべき方向性と達成された姿を市民と共有することが、行政と議会の生産性向上にとって不可欠な条件であると確信しています。」と述べられている、私も共感するところであります。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>市民との現状共有の必要性から下記の通り質問致します。</p> <p>① 公共施設再配置の必要性の重要度をどのように考えておられますか。</p> <p>② 196 公共施設と 18 公園の公共施設再配置計画をしなければならぬ現状をどう捉えていますか所感をお聞かせください。</p> <p>③ 廃止、継続、譲渡と方策の区分けがされていますが、あくまでも上屋（建物）対象と理解いたします。土地所有状況では一部借地又は借地が見られるが継続、譲渡の方策の区分けの中で借地の解消策の方向性は買い上げと思われませんが、そのような理解でよろしいでしょうか。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4年 2月25日

伊豆市議会議長 様

議席番号 14 議員名 三田 忠男

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. (仮称)伊豆市スカイライン CC 太陽光発電所建設事業の進捗状況と伊豆市の取り組みについて	<p>伊豆市の将来像として、めざすまちのテーマとして「自然・歴史・文化が薫る誇りと活力に満ちた『伊豆半島の新基軸』・伊豆市」～いつまでも住み続けたい次世代に笑顔をつなぐ礎づくり～が、伊豆市総合計画のまちづくりの肝となっています。予算もその実現のために、編成されています。</p> <p>そこで、伺います。重点目標2安全で心地よい生活環境の創出、政策2安全・安心なまちづくり推進、施策2持続可能な環境未来都市の実現、作戦2環境にやさしい取組の推進の中で、「カーボンニュートラルへの取組の推進、景観計画の見直しと景観重点地区の拡充」がうたわれていますので、(仮称)伊豆市スカイライン CC 太陽光発電所建設事業の進捗状況と伊豆市の取り組みについて以下のとおり伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーに対する伊豆市の基本的な取り組み姿勢 昨年3月議会で「抑制区域・自然環境との調和等調査研究したい。」と、答弁がなされていますが、現時点での検討結果はいかがでしょうか 「市としては、住民の意見に寄り添い事業者に申し入れしたい。」とも答弁していますが、市として市民との情報共有を図るため、市ホームページや広報等で現 	市長

<p>2. 伊豆市の新型コロナウイルス感染状況とその結果の影響について、対策の現状と課題</p>	<p>状を周知する必要があると考えますがいかがでしょうか</p> <p>4. 伊豆スカイラインゴルフ場を守る会と事業者が昨年より、民事裁判係争中であるときいていますが、市としてどのように受け止めているのか伺います。</p> <p>伊豆市は、いち早く感染予防・防止対策、経済対策や市民生活への支援を各種展開しているが、各種支援策から漏れている市民や、事業所はないか心配です。改めて、市民に周知する必要があると思い以下伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市民全体への支援策の実績 2. 子育て世代への支援実績 3. 貧困家庭への支援実績 4. 障害児・者、難病者への支援実績 5. 観光事業者（旅館等宿泊事業者含む）への支援実績 6. 交通事業者への支援実績 7. 小売業・飲食店事業者等支援実績 8. 医療・福祉・介護事業者等への支援実績 9. 農林水産業者への支援実績 10. コロナ感染者への支援実績等 11. 今後検討している支援策がありましたら、検討状況を伺います。 	<p>市長</p>
--	---	-----------



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4年 2月 25日

伊豆市議会議長 様

議席番号 11番 議員名 波多野 靖明

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1. 消防団の施設環境と優遇措置について	<p>「空気が乾燥し、火災の発生しやすい季節となっています。お休み前の火のもとには十分注意してお休みください」冬になると毎晩、消防団が市民の皆様に夜警で声をかけながら巡回をしてくれています。</p> <p>私も消防団経験者ですが、ご近所からは「毎晩夜警にまわってくれていて安心する」と、言葉をいただくと嬉しくなります。</p> <p>火災となればいち早く合流できる団員から詰所に集合。仕事が途中でも切り上げて火災現場に向かう事も多いでしょう。普段から有事の際には昼夜を問わず迅速な対応をして頂けることに感謝しています。</p> <p>しかし、私が聞いた話で何とかしなくてはいけないと思ったことがあります。火災発生時に詰所からポンプ車が出動後であったため、現場近隣の商業施設の駐車場に車を停め、消火活動にあたった。</p> <p>鎮火後に詰所に戻ろうと、車を取りに向かったところ、商業施設の方に「勝手に車を停めた」「邪魔だ」と言われたことに対し「火事だったから、、」という言葉は、自分で飲み込み、「すみませんでした」と謝る団員。</p> <p>よく聞けば、そもそも非常時に詰所に車が置けないこともあり大変困るという事でした。</p> <p>消防団活動というものは本人の地域愛や正義感、地域住民の理解と協力、そして行政の力強いバックアップのもと</p>	市長

<p>2. コロナ禍における市内小中学校の行事・授業について</p>	<p>になりえるものと考えています。 そこでお伺いいたします。</p> <p>① 市内消防団を取り巻く環境について、詰所の駐車場の有無について</p> <p>② なり手不足の解消のために現在進めていることはありますか。</p> <p>オミクロン株とおもわれる今回の第6波は、伊豆市でも市民の皆様によくの感染者、濃厚接触者の方が出ています。そんな中で、子どもの親御さんからご意見を伺いました。</p> <p>お子さんが濃厚接触者という事で学校に登校できず、自宅待機。その間、学校からは宿題が出されたがタブレットで授業はできないのか。</p> <p>一般社会では仕事、会議でウィズコロナとして、リモートワークが進んでいます。</p> <p>しかし、学校で一人一台のタブレットが渡されても、この時に活用されず、親御さんとしては授業に遅れてしまい、周りについていけなくなるのではないかと心配になるという内容でした。コロナが流行して早2年が経過しようとしています。社会的にウィズコロナの対応が進んで、学校の中でも様々な分野で対応していると思いますが、お伺いいたします。</p> <p>① コロナ感染、濃厚接触者で休んでいるお子さんに、どのような対応をされましたか。</p> <p>② 今後どのような対応が必要と考えますか。</p> <p>③ 現在のタブレットの活用状況と今後の活用方法について</p> <p>④ 子ども達の命が優先される中、それでも学校生活に充実感を持たせる為にも、ウィズコロナでの学校行事をどのように取り組んでいますか。</p>	<p>教育長</p>
------------------------------------	---	------------

<p>3. 伊豆市の玄関口、修善寺駅と周辺の活性化について</p>	<p>2014年に新駅舎が完成し、東西南北に行き来できるようになったことは、市民生活において大きな利便性の向上となりました。</p> <p>大変便利になった一方、駅利用者として強風時、特に冬場は風が冷たく、利用者に優しくないというご意見を耳にいたします。</p> <p>そこで、バスやタクシー、送迎待ちの方にも利用しやすいするための対策はとれないでしょうか。</p> <p>また、地元有志による西口広場の有効利用やイベント企画がよく行われていましたが、コロナの影響で控えることが多いでしょう。コロナが収束したら、盛大に行いたい。と思っている方が多いのではないのでしょうか。</p> <p>それまで何とか持ちこたえようとしている事業者、つらくても前を向いて頑張ろうとしている人々、多くの市民がコロナ終息とともに心から笑顔になれる活性化を後押しする必要があると考えます。</p> <p>そこで、近年はインターネットだけでなくテレビなどでも見かけることが多くなった誰でもひける「ストリートピアノ」を駅構内に設置するとか、あくまでも一例ですが検討してみたいはいかがでしょうか。</p>	<p>市長</p>
-----------------------------------	--	-----------



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4年 2月25日

伊豆市議会議長 様

議席番号 8 議員名 星谷 和馬

No. 1

発言の種別 (○で囲む) (一般質問) 質疑・反対討論・賛成討論・その他 ()		
発言の要旨		答弁を 求める者
件名	内容	
1. 奨学金制度について	<p>令和4年度主要事業に奨学金制度が掲載されていません。人口減少、空き家対策でもあり大変重要な事業です。</p> <p>コロナウイルスにより、学生はアルバイト代が減少し、親の年収増も期待できません。その為奨学金受給者が増加しています。</p> <p>この制度は学生、若者のUターン、Iターンを促します。そして地域、特に田舎では大変喜ばれ活力にもつながります。下記について質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 過去2年間の実績、また検証はいかがですか。 2. 事業の見直し、拡大はしませんか。 3. 給付型奨学金の導入はしませんか。 	市長
2. 美術館建設について	<p>美術館は、文化を広める観光資源でもあります。</p> <p>そして修善寺温泉の活性化、繁栄をもたらします。</p> <p>美術品は、郷土資料館が閉館してから6年間公開されず、倉庫に眠ったままです。日の目が当たってこそ文化が開花されます。</p> <p>美術館建設に向けての調査、課題はどうか、またその後の進捗状況を伺います。</p> <p>(建設場所、面積、建設費、ランニングコスト)</p>	市長、教育長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4年 2月 25日

伊豆市議会議長 様

議席番号 1 議員名 小川多美子

No. 1

発言の種別 (○で囲む) (一般質問) 質疑・反対討論・賛成討論・その他 ()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
耕作放棄地の解消について	<p>市内には大小様々な規模の耕作放棄地が見受けられます。</p> <p>今から半世紀ほど前に各地で構造改善が行われて、小さかった田畑は大きく広がり、大きな農業機械により作業効率の良い耕作地ができあがりました。田畑に繋がる道路もそれまでは小さな農業機械がやっと通れるほどだった作業道が、コンクリートで舗装されて車で乗り入れられる広さの農道に整備され作業環境は整いました。機械による耕作や車での運搬作業はそれまでの農作業に比べると雲泥の差だったことと思います。</p> <p>にも拘わらず、それから数十年経った現在、せっかく広く作業のしやすくなったはずの田畑ですが荒れ果てた光景を至る所で目にするようになってしまいました。</p> <p>理由として『高齢になって耕作が出来ない』『農業機械の老朽化などで、使えなくなったが買い換えにはお金がかかる』『農業収入より勤めをしての収入の方が良い』『鳥獣による作物被害が酷い』などの理由で農業から遠ざかっていく人たちが増えたことなどが挙げられます。</p> <p>今、世間には仕事をリタイアし時間的に余裕があり農業をしてみたいがどうしたらいいか、という人たちが多くいると思います。</p>	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>1, <u>市では、遊休農地対策事業や市民農園管理事業をうたっていますが市内に数カ所ある市民農園の存在を知っている方はどれだけいるでしょうか。まずは市民に知ってもらうことで農園の利用者が増えていくのではないのでしょうか。</u></p> <p>2, <u>休耕地を利用し折々の花の種をまいて咲かせ、観光の目玉としたらどうでしょうか。</u></p> <p>3, <u>修善寺和紙の発祥の地と言われている紙谷の修善寺和紙工房では和紙の原料として『みつまた』『こうぞ』『とろろあおい』などを使っています。この紙漉きは一枚一枚手仕事で、作る作業も大変ですが、材料の調達から紙を漉くまでには細かな沢山の工程があり大変貴重なものです。</u></p> <p><u>修善寺中学校では2～3年前まで自分の手で漉いたこの和紙を卒業証書に使っていたようです。子供や父兄からも体験してみたい、体験させたいとの声も聞きます。伝統的な修善寺和紙に触れ原料から出来上がりまでの工程を学ぶ良い機会になると思います。学校ではこのような取り組みについてどのように考えているか伺います。</u></p> <p><u>この和紙の原料となる『みつまた』や『とろろあおい』を休耕地に植えては如何でしょうか。「昔から継承されてきた修善寺和紙を 100%修善寺産の原料で作ることが出来るようにしたい」と工房の方は話していました。少しずつでも耕作放棄地の解消になればと思います。</u></p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 4年 2月 24日

伊豆市議会議長 様

議席番号 16 議員名 杉 山 誠

No. 1

発言の種別 (○で囲む) <input checked="" type="radio"/> 一般質問・ 質疑・ 反対討論・ 賛成討論・ その他 ()		答 弁 を 求 め る 者
発 言 の 要 旨		
件 名	内 容	
1.脱炭素 (カーボンニュートラル) への取り組み	<p>脱炭素とは、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素を含む温室効果ガスを実質ゼロにすること。そのためのキーワードが「カーボンニュートラル」。</p> <p>カーボンニュートラルとは、生産などによって排出される温室効果ガスの量と、森林などの植物による吸収量を同じにして、実質的にプラスマイナスゼロにすることを示す。</p> <p>政府は 2050 年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロの目標達成に向けて、自治体の取り組みを支援して地域の脱炭素化を促すとともに、民間資金を呼び込む政策を進めている。</p> <p>2月8日に閣議決定した地球温暖化対策推進法改正案では、脱炭素に取り組む自治体に対して、国の財政支援を努力義務化することなどを盛り込み、また、再生可能エネルギー導入などに取り組む民間企業に出資する官製ファンド「脱炭素化支援機構」の創設なども規定した。</p> <p>地域の脱炭素化については、2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロを宣言する自治体「ゼロカーボンシティ」が増加しており、2019 年 9 月時点では東京都など 4 自治体だったが、本年 1 月末には 534 自治体に拡大していて、静岡県では県をはじめ隣の伊豆の国市などの 14 市町が宣言を発している。</p> <p><u>官民一体の取り組みを進めるためにも市長の意思を表明することが必要と考えるがいかがか。</u></p> <p>さらに、脱炭素化への目標達成には長期にわたる計画的な取り組みが必要となる。<u>市民・事業者への啓発や支援、教育現場での啓発、公共施設への再エネ導入や省エネ、EV 車の導入など、カーボンニュートラルへ向けた取り組みについて伺う。</u></p>	市長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
2. コロナ禍で打撃を受けた観光業の再生に向けた取り組み	<p>国土交通白書 2021 によると、「観光業は、旅行業、交通産業、宿泊業、飲食産業、アミューズメント産業、土産品産業、旅行関連産業等幅広い分野を包含した産業であり、我が国経済に与えている影響は非常に大きい。また、地域レベルで見ても観光業は、地域外との対流・交流を生むとともに、地域外から利益を得て地域経済を支える産業として重要である」として、観光業が新型コロナウイルス感染症により非常に大きな打撃を受けており、このままでは多くの事業の維持が困難になる恐れがあることから、その対策の必要性を示している。</p> <p>当市においても観光業の果たす役割は大きなものがあり、市内経済や雇用の維持のため、コロナ禍で最も大きな打撃を受けたとされる観光業の再生・支援に力を入れていく必要があると思う。</p> <p><u>市長が施政方針で述べた観光振興政策「観光拠点整備」「それぞれの風情を際立たせるための観光地整備」とは、具体的にどのようなことを想定しているか。</u></p> <p><u>観光庁の 2021 年度補正予算では、「観光地の顔となる宿泊施設を中心とした、地域一体となった面的な観光地再生・高付加価値化について、自治体・DMO 等による観光地再生に向けた地域計画の作成や同計画に基づく改修事業等を強力に支援する」としているが、当市の取り組みはいかがか。</u></p> <p><u>長期的には、高齢による免許返納者の増加、若年層の車離れ、団体客の減少や遠方からの観光客など、自家用車以外による来訪客への対応も整備する必要がある。</u></p> <p><u>住民の移動手段の確保を兼ねて、観光客にも喜ばれる公共交通体系の整備をいかに進めるか。</u></p> <p><u>また、今後 EV 車の増加が考えられる。公共施設をはじめとして、急速充電設備の整備が必要と考えるがいかがか。</u></p>	市長